

花きの県別生産出荷概況(12月見通し)

令和2年11月30日現在
出典:花き流通情報連絡協議会資料

品目	県名	作型	主要品種	出荷期	作付面積 ha	出荷見込み		5月のピーク(%)			主産地	作柄及び概況
				期間		出荷総数 千本	京浜地域向 千本	上旬	中旬	下旬		
				(ピーク)	(前年比)	(前年比)	(前年比)					
バラ	群馬県	施設 (周年)	アヴァランチェ サムライ08 ほか	周年 (5~11月)	11.8 (97%)	630 (97%)	430 (100%)	33	33	33	前橋市 富岡市 昭和村	10月の低日照の影響により一部細かいものも見られるが、全体としては気温の低下に伴い品質の向上が見られている。問題となる病害虫の発生もない。昭和村については、年内には出荷終了を見込む。 12月の出荷量は平年並みを見込む。
ロア メル リスト アト	長野県	加温・ 地中 冷房	ピンクティアラ ベルーガ マッサ ピンクサプライズ	周年 (4月)		1,400 105%	600 100%	0.3	0.3	0.4	上伊那 信州諏訪 松本ハイランド 佐久浅間	夏場の高温等による影響から、出荷数量の少ない状況が続いている。10月中旬より暖房入れての管理をしている為、年末に向けて増加、安定した出荷となる見込み。

花きの県別生産出荷概況(12月見通し)

令和2年11月30日現在
出典:花き流通情報連絡協議会資料

品目		販売における現状と今後の見通し	
バラ	現状	高冷地と西南暖地の切り替えにより、相場は西南暖地中心に推移。ブライダルは(体感で)約4割程度の注文。21日の「いい夫婦の日」の引き合いを中心に相場は上昇。輸入はケニア、エクアドルは通常通りだが、インド、ウガンダなどは不安定。インド産の入荷は来年4月まで無理だろうと予想される(大田)。栃木・静岡・愛知などより入荷。連休前は活発に取引されたが、月曜日はやや苦戦(FAJ)。ようやく品質も安定し、長い物も出始める。動きは、ブライダル品種は若干弱いが、スタンダード色は良い(第一花き)。引き続き天候不順の影響で入荷少ない。小売りの動きは鈍い(世田谷花き)。婚礼需要は例年の6、7割とまだまだだが、ホームユースとギフト系の動きがしっかりしている。入荷量は天候不順で約8割と少なめ(東日本板橋)。	
	見通し	大田花き	高冷地の気温の低下とともに入荷量は減少傾向。西南暖地では、運賃の理由に地方への出荷を抑え、東京に多く配分する可能性がある。
		FAJ	クリスマス・年末に向けて活発な取引を予定。数量は昨年並み程度。
		第一花き	クリスマス需要より年末需要となりそうな気配。品質・日持ちがよくなり動きもありそうである。
		世田谷花き	赤中心に引き合いが強まる見込み。年末に向け強くなる。入荷は例年より少なめの見込み。
東日本板橋花き	入荷量は例年の90%を見込む。年末需要中心に引き合い強い。		
アルストロメリア	現状	夏場の猛暑もあり、国産の出回り量が少なく、葬儀・専門店中心に単価高で取引。量販店・ブーケメーカーの問い合わせは増加したが、コロンビア産で対応した(大田)。長野・山形より入荷。出荷数量は昨年並み程度だが、高値で安定した相場での販売続く(FAJ)。高冷地は遅れ気味、暖地物に関しても若干遅れ。入荷は10月と違って少ない状況が続いている(第一花き)。長野県産中心の入荷。安定した引き合いで、例年通りの高値相場(世田谷花き)。愛知・青森中心の入荷。昨年より少ない出荷量(東日本板橋)。	
	見通し	大田花き	年末向けでも国産は大変少ない入荷が続く。年末需要期には下位等級が不足。輸入品も増量するが、他品目が優先となり、大きく増えない見込み。
		FAJ	先月同様、長野と山形主体の入荷。数量は微増。一般小売りから葬儀まで引き合い安定の見込み。
		第一花き	安定した入荷が見込まれる。
		世田谷花き	引き続き潤沢。業務中心に堅調な引き合い。
東日本板橋花き	愛知・青森中心の入荷。昨年より少ない出荷量の予想。		
ストック	現状	10日～2週間程度遅れているため、上旬は数量少なく、昨年比40%前後。、中・下旬には数量が安定、単価が下がり、数量使う顧客が増えた(大田)。山形・福島・長野などより入荷。堅調な相場での販売続く。葬儀需要主体の動き(FAJ)。上旬は高冷地中心でありながら、急な冷え込みもあり遅れ気味である。近在産地及び暖地物が出揃うのは下旬になりそう(第一花き)。山形・福島などから入荷。例年より2～3週間遅れている(世田谷花き)。	
	見通し	大田花き	年末に向け各産地増産しているが、ここ数年年末需要に対して供給が足りず、セリ相場が高騰している状況がある。
		FAJ	年末に向けて需要高まる。中盤までは安定した入荷の予想だが、年末は不足感が出る見込み。
		第一花き	各産地出揃いはじめ、季節商材として動きはありそうである。
世田谷花き	千葉県産の出荷も始まり潤沢。年末もありそう。		